

今、何の病気が流行しているか！

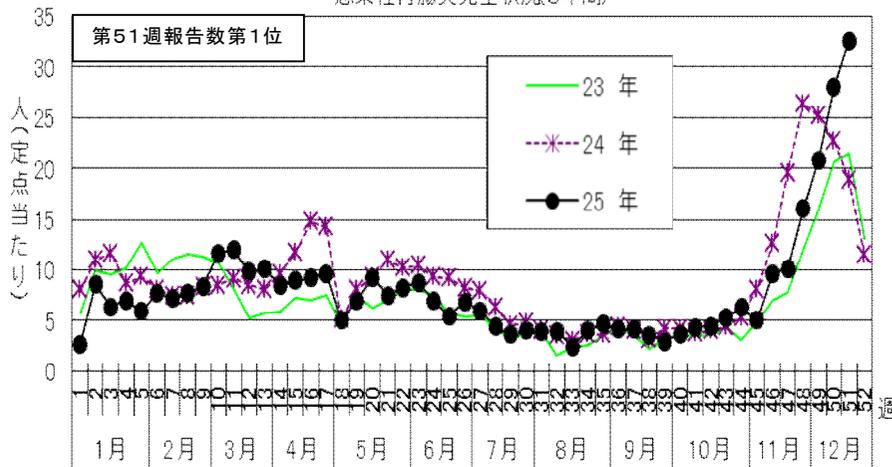
【感染症発生動向調査事業から】



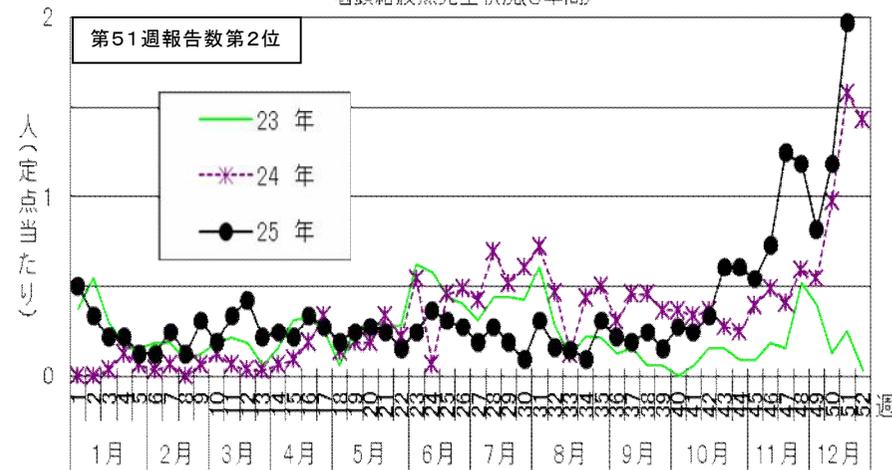
平成25年12月16日(月)～12月22日(日)〔平成25年第51週〕の感染症発生状況

第51週で定点当たり報告数の多かった疾病は、1)感染性胃腸炎 2)咽頭結膜熱 3)A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 でした。
 感染性胃腸炎は定点当たり32.61人と前週(28.00)より患者報告数は更に増加し、流行発生警報基準値(定点当たり20人)を大きく超え、非常に高いレベルで推移しています。
 インフルエンザは定点当たり1.17人と前週(0.61)より患者報告数は倍増し、流行開始の目安とされている定点当たり1.0人を上回りました。今後の発生動向に注意が必要です。

感染性胃腸炎発生状況(3年間)



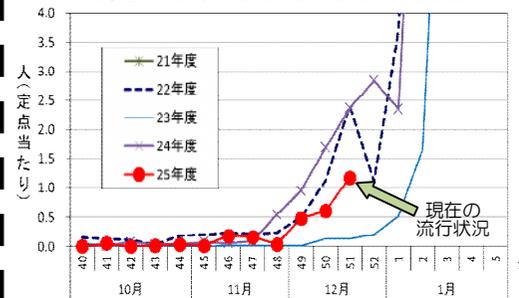
咽頭結膜熱発生状況(3年間)



この冬の感染症。流行状況は？

インフルエンザ

現時点でのインフルエンザ流行状況



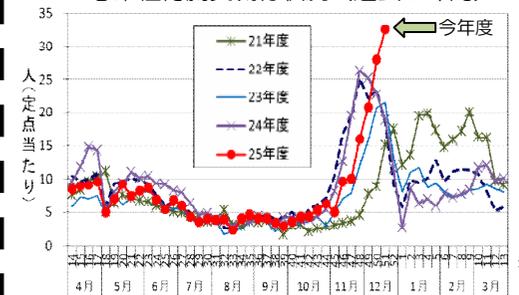
第51週のインフルエンザ患者報告数が定点当たり1.17人となりました。流行開始の目安とされている定点当たり1.0人を上回り、今年もインフルエンザの流行シーズンに入っただと考えられます。

日頃の「手洗い」や「咳エチケット」を心がけましょう。まだ「ワクチン接種」を終えていない方は早めにご検討ください。



感染性胃腸炎

感染性胃腸炎流行状況(過去5年間)



感染性胃腸炎患者の定点当たり報告数は、第51週に32.61人と、前週に引き続きさらに増加しています。現時点で今年は、平成11年のデータ収集開始以降、平成18年に次ぐ過去2番目に大きな流行となっています。

この時期における感染性胃腸炎の原因の多くは「ノロウイルス」です。食品の加熱やおう吐物の処理方法等に注意が必要です。

